

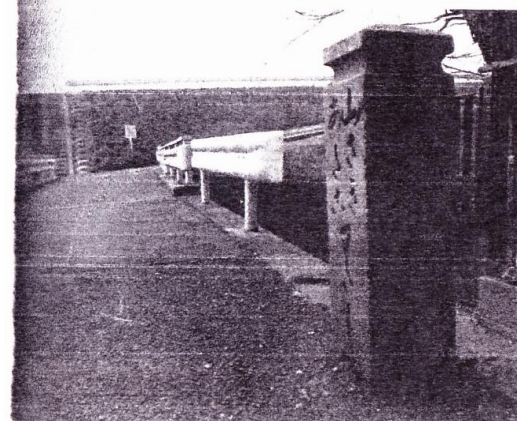
歴史を学ぶ講座 新・八幡の歴史 59 回目

前回、出口修さんは橋本の渡しの話をして下さいました。725 年、行基という僧侶が橋本から山崎間(淀川の川幅は 360m で深さが 1~2.4m)に山崎橋という橋をかけたことから地名が橋本と言われるようになったと言われています。でも、橋は度々の洪水で流されて、何度か修復されましたが、11 世紀には廃絶。豊臣秀吉がまた再建したと言われています。でもまた流されてその後はずっと、昭和 37 年(1962 年)まで渡し舟が通っていました。山崎から石清水八幡宮で使われる燈油用の油を運ぶのに使われていていました。これは八幡宮神人としての大山崎油座の特権につながっていききました。今ではなく奈良時代にどうやって橋をつけたのか興味がわきますね。

- ① 日時 2024 年 9 月 25 日(水)13 時 30 分~
- ② 講師 出口修さん
- ③ 参加費 100 円



橋本の渡し(昭和 37 年 1962 年)



(橋本の渡し場道標碑)

八幡まるごと館/八幡市男山松里12-20 (TEL&FAX) 07
5-983-3664
(E-MAIL) yawata@marugotokan.net 作られた
ホームページは <http://marugotokan.net/>
又は、八幡まるごと館で検索して下さい



八幡まるごと館は街行く人のだれもが自由に立ち寄れる“地域サロン”です。休館日は毎週火曜日全日と土・日午後です。